

Long-Term Care in the Future

ねがいの かいご

あなたが輝けるステキな仕事

2025（平成 37）年には、高齢者の増加に伴い、介護人材が全国で約 38 万人、滋賀県でも約 3,500 人も必要と推計されています。

介護を必要とする方はたくさんいるにも関わらず、介護をする人がいない……。そんな事態にならないように、皆で考えていく必要があります。

現在、介護のお仕事をしている職員の方々にお話を聞きました。彼らの考える魅力とは？ 多様な働き方やライフスタイルについてのぞいてみましょう。



座談会 介護の魅力

野沢 郁子（のざわ いくこ）さん（介護歴約16年）
職種：介護支援専門員（ケアマネジャー）（正職員）
保有資格：介護福祉士・介護支援専門員等

田中 佐千世（たなか さちよ）さん（介護歴約7年）
職種：介護福祉士（パートタイマー）
保有資格：介護福祉士・介護支援専門員

堀江 聖仁（ほりえ きよひと）さん（介護歴約3年）
職種：介護職員（正職員）

山本 結（やまもと ゆい）さん（介護歴約4年）
職種：介護職員（正職員）
保有資格：介護福祉士

『介護の仕事に就いたきっかけ』

野沢：皆さん、こんにちは。今日は介護の仕事の魅力について、一緒に話をしていきたいと思います。まず、皆さんがこの仕事を始められたきっかけは何でしょうか。私は、子育てをしていた時、外に出て仕事をしたいと思っていました。そして、ホームヘルパー2級の資格取得をきっかけに、パートタイマーとしてデイサービスで働き始めました。



田中：私も野沢さんと同じようなきっかけです。子育てをしながら働ける仕事を探していました。色々和时间の制約があって、なかなか仕事は見つかりませんでした。そんな時、今の施設に、都合の良い時間で働いてく

て良いですよとってもらえたので、この仕事を始めました。堀江さんはどうですか。

堀江：僕は元々別の仕事をしていたのですが、不景気の影響を受けて、転職することになりました。色々仕事を探してみましたが、なかなか見つかりませんでした。そんなとき妻が、僕の性格なら介護の仕事も向いているかもしれないよとってくれたのがきっかけで、今の施設で働き始めました。

僕みたいに他の仕事を経験してから介護の仕事始める人もいますが、山本さんは大学で福祉を学ばれていたんですね。

山本：はい、そうです。高校生のときに進路のことで家族に相談したところ、福祉なら長く働けるのではという助言もあって、大学で福祉全般を専攻しました。大学の実習で、認知症の方と接する機会があり、そのコミュニケーションに魅力を感じて、高齢者介護の道に進むことにしました。学生の時から、私は高齢者介護に関わっていましたが、介護の仕事を始められた時の田中さんの印象はどうでしたか。

『“あたたかい人”が多い職場』

田中：私は以前別の仕事をしていました。その時にはなかったことですが、この仕事で働き始めた頃、ご利用者が「ありがとう」と自然に感謝されることに驚き、素敵なことだなと思いました。また、私自身も感謝する言葉を自然に言えるようになりたいと思うようになりました。

野沢：ご利用者と接すると温かい気持ちになれますよね。それに、介護に携わる人も温かい人が多いと思います。

堀江：僕もそう思います。僕には子どもが一人います。その子が生まれた日は、元々シフトで仕事が入っていて、出産には立ち会えないと思っていました。ですが、上司が、僕が出産に立ち会えるように気遣って、僕の代わりに仕事に入ってくれたときは、なんて温かい職場なんだと思いました。

田中：温かい人が多いですね。家庭の都合で急なことがあっても、周りの人が気遣ってくれて、代わりに仕事に入ってくれたりして助かっています。職場の仲間同士で支え合うので、家庭と仕事両立しやすい雰囲気がありますね。

『いつからでもキャリアアップできる！！』

野沢：それに家庭と仕事を両立しながら、キャリアアップしていくことが出来るのもこの仕事の魅力ですね。私は、最初パートとして午前中だけの勤務でしたが、子どもの成長とともに、働く時間を少しずつ伸ばしていき、正職員として働くようになりました。また、介護福祉士やケアマネジャーの資格も働きながら取得しました。

田中：私もデイサービスで働き始めてから、介護福祉士の資格取得や、ケアマネジャーの試験も合格しました。資格を取ることで、さらに色々な働き方ができますね。

堀江：僕のように無資格や未経験の中途採用者も、資格取得などでのステップアップやキャリアアップができるのは魅力ですね。また資格取得に関しては、施設によって異なるでしょうが、今僕が働いている施設では、働きながら資格取得しやすいサポートをしてもらっています。この仕事に就くまでは、介護の仕事には資格が無いと就くことが出来なかったと思っていました。以前の僕みたいに、資格がないと働けないと思っている人は多いかもしれませんね。



野沢：資格は働きながらでも取れますし、また、介護の仕事に初めて就く方でも、年齢は様々ですね。この仕事は、いつからでも、キャリアアップが出来るのが良いところですね。ですから、山本さんのように、若い人でも活躍できる仕事だと思います。



山本：私は、働きだして、まだ3年目なのですが、副主任として働かせてもらっています。副主任といっても、まだまだこれからで、プレッシャーもあって大変ですが、困った時に一緒に考えてくれる上司や

先輩がいつも私を支えてくれます。見てくれる人がいるのもやる気に繋がります。上司や先輩のように、さり気ない言葉かけや気遣いができるように成長していきたいです。

『介護は様々な人が関わって一つのチームに』

堀江：年齢だけでなく、男女問わず活躍できます。ご利用者には、男性も女性もいらっしゃるの、男性が必要とされる場面があります。この仕事に就くまでは、介護の仕事は女性の仕事で、食事や排せつなどの

決まった仕事だけをするものだと思っていました。実際は、男性も求められていますし、企画する仕事も色々あります。

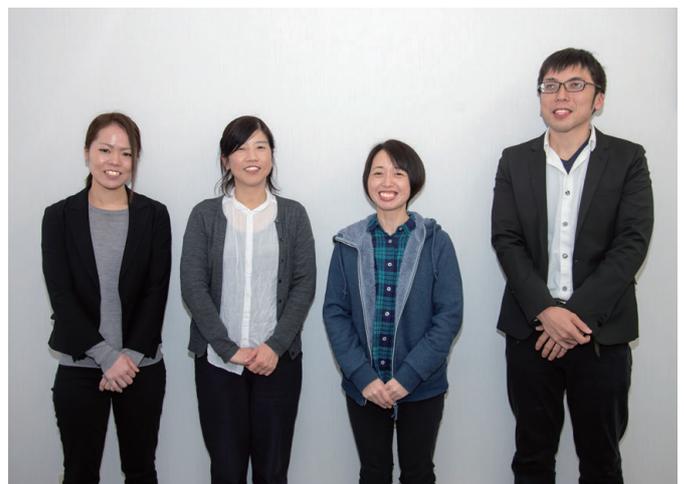
山本：普段の業務以外にも、施設では様々な行事があって、職員が企画運営しています。現在行事の企画などに携わることがありますが、一人一人の利用者の状態を考慮して、企画しています。たとえば、運動会ですと、動くのが難しい利用者には、職員が手伝いながら、それぞれのできる範囲で一緒になって参加できるように企画しています。色々考える仕事があるのも、この仕事の魅力の一つだと思います。

野沢：介護の仕事というと、世間では現場で介護することだけを想像されると思いますが、私のように、ケアマネジャーとして、ご利用者にとって必要なサービスを計画することが仕事の人もいます。介護の視点だけでなく、医療やリハビリなどの色々な視点を持つことや、また、家族や介護をしている方などのことを考えながら介護のサービス計画（ケアプラン）を作成します。その中で、私が大切にしていることは、利用者の方の生活の充実です。ご利用者の生活がどうすれば向上するかを考えてケアプランを作成しています。

山本：私は介護職員として、ケアマネジャーの方が思いを込めて作成されたケアプランを、どうしてこのケアプランが作成されたのか、ケアマネジャーの方の思いを考えて介護を行っています。一つ一つのケアプランは、ご利用者のために色々と考えられたものであることを改めて感じました。私も介護職員の立場から、一人一人の利用者のことを考えて、ケアマネジャーの方に気付いたことを発信していきたいと思います。

田中：介護の仕事には様々な人が関わっていて、ケア一つにも流れがあって、ご利用者を支える一つの大きなチームみたいに思えました。お互いが足りないところを補い合いながら、働いています。私自身今は介護職員として働いていますが、いずれはケアマネジャーとして働きたいと思っているので、大変勉強になりました。

野沢：ケアマネジャーとして、普段は現場から離れて仕事をしているのですが、現場の方々、ケアプランについて色々と考えながら、働いてくださるのを聞いて大変嬉しいです。今後も利用者の生活の充実に繋がるよう、さらにより良いケアプランを作成していきたいと思います。



インタビュー 私の職場



平井 真紀（ひらい まき）さん
介護歴：約18年
職種：施設福祉課長（正職員）
保有資格：社会福祉士・介護支援専門員・介護福祉士

人間の体に興味があって介護の道へ進まれたそうですね。

高校生のとき、スポーツに打ち込みました。専門学校では、人間の身体のしくみや健康に関する勉強をしました。健康についての授業の一環で福祉についても学ぶ機会があり、その福祉に興味を持ち、無資格で高齢者向けの施設に就職しました。

就職してから様々な資格を取得されたそうですが？

働きだしてみると、今まで感じたことのない、人の持つ魅力を感じることができました。そして、どんどんこの仕事が好きになっていきました。ご利用者の思いに応えたいと、介護福祉士の資格を取得し、その後、体育会系の私でしたが、ケアマネジャーや、社会福祉士の資格も取得しました。今は管理職として働いています。私のように無資格からのスタートであっても、働くことができ、また就職してから資格を取得して、管理職などのキャリアアップも可能です。

子育てしながら管理職をされているとお聞きしましたが？

今の施設で働き始めてから、結婚し、子どもも生まれました。育児休暇を2回取得し、今では2児の母親です。私が子育てをしながら管理職として仕事ができているのは、職員同士がお互いのことを思い、支え合える職場だからです。

介護の魅力について教えてください。

ご利用者の笑顔に喜びを感じ、励まされ、自分自身が人として大きく成長できる仕事です。私の働く職場では、資格取得制度や出産や育児に関する制度も充実しています。介護職員の処遇改善に国も力を入れています。介護は人でなければできない仕事です。人間の奥深さ、優しさにふれることができます。ぜひ、介護を仕事としてほしいです。



五十子 穂津美（いかご ほづみ）さん
介護歴：約15年
職種：介護職員（パートタイマー）
保有資格：介護福祉士

自分の生活スタイルに合わせた勤務が可能で、この仕事を始められたそうですが？

当初は、子どもが小さくて、まだ保育園に通っていたので、短時間しか働くことができませんでした。そんなとき、今の施設で働く知人から、短時間でも働くことができるといふことで誘いを受けて、働き始めました。

家庭と仕事を両立はできますか？

今でもこの仕事を続けてられているのは、職場や仲間の助けがあってこそだと思います。働き始めた当初は、午前中だけのパートとして働かせてもらっていました。子どもは大きくなり、フルタイムとして働いていますが、今でも家庭と仕事の両立のために、土日祝日はお休みをいただきながら、働かせてもらっています。

以前、子どもの病気で長くお休みをいただかないといけないことがありました。最初は職場に迷惑がかかると思い退職の旨を伝えました。しかし、ありがたいことに、職場からは、一年お休みしてでも、戻ってきて欲しいと言ってくれました。一旦は退職しましたが、その後家庭が落ち着いて、職場の方が暖かく迎えてくださったおかげで、復職して現在も働かせていただいています。

介護の仕事を通じて、どのようなことを感じていますか。

人と人が触れ合うことで、人の温かさを知ることができます。ご利用者を支えるのはもちろんですが、意外かもしれませんが、ご利用者に私たちが支えてもらうこともあります。以前、落ち込むことがあって、顔には出さないように笑顔で仕事をしていたつもりでしたが、さすがに人生の大先輩です。ご利用者から心配していただきました。この仕事を始めてから、たくさんの方に気付かされました。嫌なことがあっても、仕事に来れば忘れることができるほどに、私はこの仕事が好きです。



殿村 千津子 (とのむら ちづこ) さん
介護歴：約9年
職種：生活相談員（正職員・時間短縮勤務中）
保有資格：社会福祉士・介護福祉士

🎤 将来性を感じて福祉の道に進まれたとお聞きました。

以前から人と接する仕事をしたいと思っていました。高校生の時に、将来の進路を悩んでいたときに、すでに介護の施設で働いている姉から、介護の仕事を勧められたのがきっかけでした。また、高齢化で今後より必要とされる仕事だとも思いましたので、大学で福祉を専攻することにしました。

大学では高齢者福祉だけでなく、広く福祉全般を学びましたが、施設での実習を通して高齢者介護により魅力を感じるようになりました。将来は相談員の仕事をしたいと思い、在学中に社会福祉士の資格を取得しました。しかし、相談員として働くためには、現場の実務経験が必要になると思いましたので、卒業してすぐに今働いている施設で介護職員として働き始めました。さらにスキルアップをしたいと思いますので、介護福祉士の資格取得もしました。現在、相談員の仕事をしていますが、現場での介護経験がとても役立っていると感じています。

🎤 仕事の中で良かったと思うことを教えてください。

介護の仕事は、自分が一生懸命に介護をさせていただくことで、ご利用者と信頼関係を築いていきます。ご利用者と接するにつれて、自分の名前を覚えてもらい、距離が縮まっていきます。

また、施設での生活は、人生の最後の生活の場になることもあります。ご利用者だけではなく、ご家族も、ご利用者がこの施設で過ごして良かったという場所になることを望まれています。ご利用者だけではなく、ご家族にも、この施設で生活ができて良かったと言ってもらえたときは、この仕事をしていますと本当に良かったと思います。



中澤 大輝 (なかざわ ひろき) さん
介護歴：約4年
職種：介護職員（正職員）
保有資格：ホームヘルパー2級

🎤 恩返しをしたくて介護の道に進まれたそうですね。

高校生のときに、卒業後の進路をどうしようか悩むことがありました。就職することを決めて、どういうところで働こうかと考えたとき、子どもの頃に高齢の方に遊んでいたことを思い出して、恩返しをしたくて、この仕事を選びました。

🎤 未経験・無資格でも働けるなど、職場のサポートがあると聞きました。

高校は、福祉系の学科ではなく、普通科を卒業したので、資格は何もなく、介護のことをあまり知らないまま、今の施設で働き始めました。最初は、知らないことだらけで不安でしたが、わからないことがあれば、上司や先輩がその都度教えてくださるので、安心して働くことができています。

働くにつれ、ご利用者のためにもっと良いケアをしたいという気持ちが出てきて、職場の制度を利用して、ホームヘルパー2級を取得しました。今の施設では、資格取得のための補助制度があり、金銭的な負担がなく、資格取得ができました。今後さらにスキルアップをしたいので、現在、介護福祉士の資格取得を目指しています。

🎤 介護職員として目指されているものは何ですか？

現場が好きなので、今よりもスキルアップして、ご利用者にもっと良いケアができるようになりたいです。以前、職場の職員 MVP として、評価していただいたときは凄く嬉しかったです。自分が今までお世話させていただいた人のことを思い出すと、もっともっと良いケアができるように成長しようという気持ちになります。今はまだ、身体の介護や生活の援助をしっかりとできるようになることが一番大事ですが、いずれはご利用者との触れ合いを通して、精神的なケアもできるような介護職員になりたいと思っています。

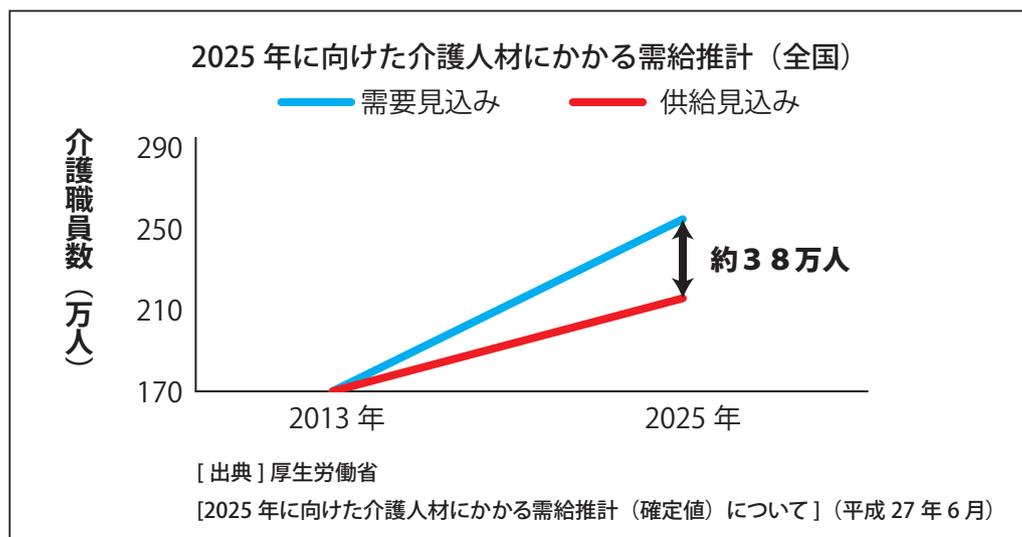
座談会・インタビュー協力：東近江介護サービス事業者協議会

介護のお仕事 Q & A

～介護の仕事に関する疑問にお答えします。～

Q: どうして介護職員が注目を浴びているのですか？

A: 現在高齢化に伴い、介護職員が求められているからです。2025年には全国で必要とされる介護職員数は約253万人と推計されています。しかし、現状のペースで介護職員が増加するとしても約215万人となり、さらに約38万人の介護職員が必要となる見込みです。



Q: 介護の職場で働くには、資格が必要なのでしょうか？

A: 介護の職場に就職するためには、資格が必ずしも必要とは限りません。また、施設によっては資格取得をサポートされる施設もあります。就職を希望される施設にお問合せください。

介護の仕事に関わる代表的な資格の例

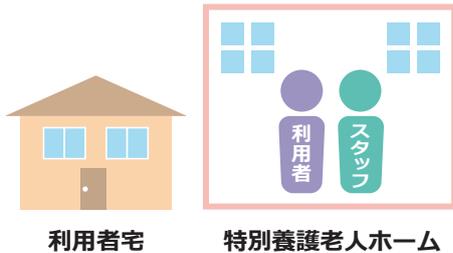
資格名	資格概要
介護職員 初任者研修	介護職としての基本的な知識・技術を学びます。また訪問介護員（ホームヘルパー）になるためには、介護職員初任者研修課程を修了し、終了証明書の交付を受けることが必要となります。（旧のホームヘルパー2級に相当します。）
実務者研修	実務経験だけでは習得できない知識・技術を学びます。平成28年度からは、この研修を終了していることが、実務経験ルートでの介護福祉士国家試験を受験するための要件になります。
介護福祉士	心身の都合で日常生活を営むことに支障がある人に応じた介護を行います。またその人やその介護者に対して介護に関するアドバイスを行う国家資格です。
介護支援専門員	介護サービスを必要とする要介護者・要支援者のために、介護サービス計画（ケアプラン）を作成する専門職です。
社会福祉士	心身の都合で日常生活を営むことに支障がある人の福祉に関する相談、福祉サービス関係者との連携・調整その他の援助を行う国家資格です。

Q:介護の職場って、どんなところがありますか？

A:介護の職場には、様々な所があります。たとえば利用者が介護を受けながら暮らす施設があります。また、利用者が通いで、介護を受ける施設があります。一方で、利用者宅を訪問し、介護をする働き方もあります。自分の生活スタイルに合わせて働く場所を選ぶことができます。

利用者が介護を受けながら暮らす施設

(例) 特別養護老人ホーム



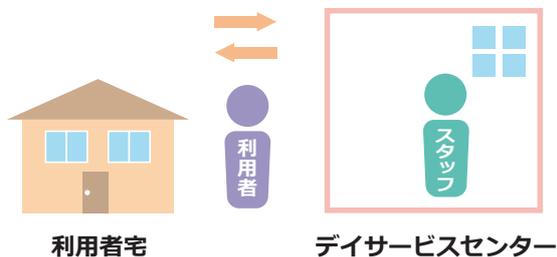
特別養護老人ホーム・・・施設で暮らす利用者に、日常生活上の支援や介護を行います。

介護老人保健施設・・・在宅での生活復帰を目指し、リハビリテーションを中心としたケアを行います。

認知症対応型グループホーム・・・認知症の方がスタッフの介護を受けながら共同生活する施設です。

利用者が通いで介護を受ける施設

(例) デイサービスセンター

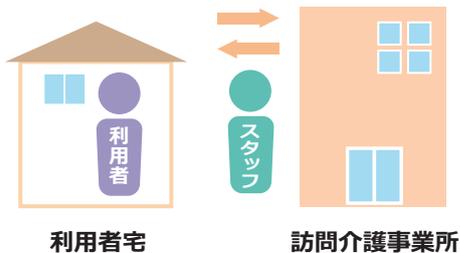


デイサービスセンター・・・通所介護施設で、食事、入浴などの日常生活上の支援や生活行為向上のための支援を日帰りで行います。

小規模多機能型居宅介護事業所・・・通所を中心に、利用者の選択に応じて訪問や泊まりのサービスを組み合わせて提供します。

利用者宅を訪問して介護をする働き方

(例) 訪問介護事業所



訪問介護事業所・・・ホームヘルパー（訪問介護員）として、居宅を訪問し、入浴、排泄、食事等の身体介護や調理、洗濯などの生活援助を行います。

東近江市内の介護保険事業所一覧（市ホームページ）

<http://www.city.higashiomi.shiga.jp/0000000298.html>



近隣の相談窓口

ハローワーク東近江（東近江公共職業安定所）

〒527-0023

東近江市八日市緑町 11-19

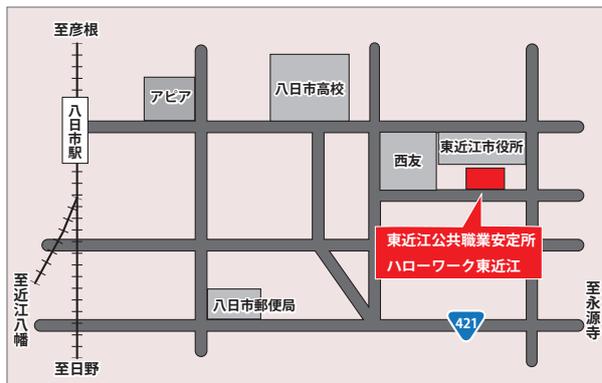
TEL:0748-22-1020

FAX:0748-25-0741

開庁時間：月～金曜日

8：30～17：15

（毎週土・日・祝日・年末年始は閉庁）



福祉のお仕事 無料職業紹介所（社福）滋賀県社会福祉協議会

滋賀県中央介護・福祉人材センター

〒525-0032

草津市大路 1-1-1 エルティ 932 3階

TEL:077-567-3925 FAX:077-567-3928

開所時間：月～金曜日 9:00～16:00

（土・日・祝休み）



滋賀県湖北介護・福祉人材センター

〒526-0036 長浜市地福寺町 4-36

長浜市民交流センター1階

TEL:0749-64-5125 FAX:0749-64-5126

開所時間：月・火・木・金・土曜日

9：00～16：00（日・水・祝休み）



このパンフレットに関するお問合せ先

東近江市 健康福祉部 長寿福祉課 高齢企画係

〒527-8527 東近江市緑町 10 番 5 号 TEL:0748-24-5645 IP:050-5801-5645

発行年月：平成28年3月 発行：東近江市

編集：東近江市健康福祉部長寿福祉課